

Environment of Kitakyushu City 2024 / contents

004 はじめに

- 004 北九州市の環境行政のあゆみ

006 特集

脱炭素社会の実現に向けた取組

- 006 1 福岡県水素拠点化推進協議会の設立
006 2 エコタウンにおけるグリーンLPガスの開発

循環システムの構築に向けた取組

- 007 3 プラスチック資源一括回収事業とプラスチックリサイクル計画の国からの認定
007 4 リネットジャパンリサイクル株式会社と連携協定を締結

生物多様性に関する取組

- 008 5 響灘ビオトープが国の「自然共生サイト」に内定

環境国際協力の取組

- 008 6 インドネシア・スラバヤ市での国際協力と高倉式コンポスト

そのほかのトピック

- 009 7 北九州市の環境ビフォーアフター(市制60周年事業)
010 8 JESCO北九州PCB処理事業所の操業終了について
010 9 令和5年7月豪雨に係るうきは市の災害廃棄物を受け入れ
010 10 (新)日明工場が令和7年度から稼働開始予定

012 第1章

市民環境力の更なる発展とすべての市民に 支えられた「北九州環境ブランド」の確立

012 基本施策1 環境活動と地域活性化の好循環

- 012 1 環境活動を行う市民・市民団体への支援・助成
013 2 ていたんポイント事業
013 3 Kitag Zero Carbonプロジェクト
014 4 環境活動に関する各種表彰

015 基本施策2 ESD等を通じた環境人財の育成

- 015 1 「持続可能な開発のための教育(ESD)」の推進
016 2 「ドコエコ!」の推進
016 3 北九州市環境首都検定の実施
018 4 環境ミュージアムを拠点とした環境学習の推進
018 5 北九州こどもエコクラブ活動の推進
019 6 環境教育副読本による環境学習の推進
019 7 修学旅行における環境学習の取組

020 基本施策3 市民間の対話・協働を通じた環境リスクへの対応

- 020 1 北九州エコライフステージ
020 2 「ていたん&ブラックていたん」を活用した広報戦略
021 3 あらゆる主体による環境政策への参加の推進
021 4 環境情報の収集・整備・提供

023 基本施策4 国際協働等を通じた北九州環境ブランドの確立

- 023 1 海外からの高い評価
023 2 諸外国との環境協力実績
024 3 アジアの人材育成拠点形成
025 4 アジアカーボンニュートラルセンター
028 5 関係機関との連携
030 6 海外水ビジネスの推進

032

第2章

2050年の脱炭素社会の実現

032 基本施策1 脱炭素社会を支えるストック型社会への転換

- 032 1 北九州市環境未来都市
- 033 2 グリーンアジア国際戦略総合特区
- 033 3 北九州市地球温暖化対策実行計画
- 034 4 市域の温室効果ガス総排出量
- 034 5 脱炭素社会を実感できるまちの整備
- 035 6 テコ活
- 035 7 城野ゼロ・カーボン先進街区形成事業
- 035 8 自動車からの温室効果ガスの削減
- 036 9 北九州市環境首都総合交通戦略の推進
- 036 10 モーダルシフトの推進
- 037 11 北九州市低炭素まちづくり計画の策定
- 037 12 住宅・建築物(ZEH・ZEB)の省エネ化の推進
- 038 13 北九州市健康省エネ住宅「kitaQ ZEH」の普及
- 039 14 CASBEE北九州の普及促進

040 基本施策2 脱炭素社会を実現する社会経済・技術・ライフスタイルのイノベーションと産業クラスターの構築

- 040 1 北九州市環境産業推進会議
- 040 2 環境未来技術開発助成事業
- 040 3 産学連携による技術開発の推進
- 041 4 北九州市中小企業の競争力を生み出す脱炭素化推進
- 041 5 環境産業融資制度
- 042 6 北九州市サーキュラーエコノミー基盤形成促進事業費補助金
- 042 7 エコテクノの開催
- 042 8 エコアクション21の認証・登録の支援
- 042 9 市役所の温室効果ガス排出量
- 044 10 学校施設太陽光発電導入事業
- 044 11 企業・大学との連携協定

045 基本施策3 次世代エネルギー拠点の総合的な形成

- 045 1 北九州市地域エネルギー政策の推進
- 046 2 脱炭素先行地域への選定
- 046 3 風力発電に係る人材育成への取組
- 046 4 北九州次世代エネルギーパーク
- 048 5 再生可能エネルギーへの取組
- 048 6 北九州市の水素に関する取組

049 基本施策4 アジア規模での脱炭素社会実現

- 049 1 アジア規模での脱炭素社会実現に向けた取組

050

第3章

世界をリードする循環システムの構築

050 基本施策1 3Rプラスの推進と資源効率性向上

- 050 1 ごみの減量化・資源化の取組
- 052 2 古着の分別・リサイクル事業
- 052 3 食べものの「残しま宣言」運動の推進
- 053 4 北九州市プラスチックスマート推進事業
- 054 5 ごみ処理の現況
- 061 6 ごみ処理経費
- 062 7 産業廃棄物の適正処理の推進

064 基本施策2 循環システムを支える施設整備・技術開発と循環産業拠点都市の形成

- 064 1 北九州エコタウン事業
- 067 2 九州環境技術創造道場
- 067 3 小型電子機器等の再資源化促進事業
- 068 4 次世代資源循環型産業拠点の形成等に向けた取組
- 068 5 家庭系廃食用油回収事業
- 069 6 北九州市建設リサイクル資材認定制度

- 070 7 ごみの減量化・資源化に関する啓発

071 基本施策3 化学物質や有害物質の適正処理・適正管理

- 071 1 PRTR制度
- 071 2 PCB処理事業

075 基本施策4 生物多様性の確保による自然循環

- 075 1 自然環境の現況
- 075 2 重要種の確認
- 075 3 「曽根干潟保全・利用計画」の策定と実施
- 076 4 第2次北九州市生物多様性戦略の推進
- 076 5 響灘・鳥がさえずる緑の回廊創成基本構想
- 078 6 環境首都100万本植樹プロジェクト
- 078 7 自然環境保全活動支援事業
- 079 8 自然環境の保全と都市部の緑の創出
- 084 9 親しみのある河川の整備
- 086 10 臨海部の整備
- 087 11 里地里山の保全と利用
- 088 12 自然とのふれあいの推進
- 088 13 地産地消の推進

090

第4章

将来世代を考えた豊かなまちづくりと環境・経済・社会の統合的向上

090 基本施策1 安全・安心でレジリエント(強靱)なまちづくり

- 090 1 北九州市公害防止条例
- 090 2 公害防止計画
- 090 3 大気環境の保全
- 095 4 水環境の保全
- 102 5 土壌汚染対策
- 103 6 騒音・振動対策
- 105 7 化学物質対策
- 108 8 悪臭対策
- 109 9 工場・事業場における環境保全対策への取組の推進
- 110 10 公害に関する苦情・要望
- 111 11 保健環境研究所における検査・研究
- 113 12 公害健康被害の補償と予防
- 115 13 環境影響評価制度

117 基本施策2 環境と社会にやさしい快適なまちづくり

- 117 1 まち美化に関する啓発
- 119 2 市民との協働による景観づくり
- 119 3 歴史的建造物の保存と活用
- 119 4 モラル・マナーアップの推進

121 基本施策3 環境産業育成と国際的なビジネスの推進

- 121 1 北九州エコプレミアム産業創造事業
- 121 2 北九州市環境配慮指針

122 基本施策4 SDGsの実現に向けた取組と環境ガバナンス

- 122 1 本市のSDGsの取組
- 122 2 国連によるSDGsに関する国際会議「ハイレベル政治フォーラム」への参加
- 123 3 OECD「SDGs推進に向けた地域的アプローチ」プロジェクト
- 123 4 SDGsに関する企業との連携協定

124

資料編

環境行政の体制

- 124 1 環境行政組織
- 124 2 施設概要
- 128 3 予算
- 130 4 環境に関連する市の主な支援制度等
- 131 用語解説